

## 平成 25 年度第 1 回浦安市学校給食センター運営委員会の要旨

- 1 開催日時 平成 25 年 7 月 5 日（金曜日）午後 1 時 30 分～午後 2 時 20 分
- 2 開催場所 浦安市消防庁舎 3 階 多目的ホール
- 3 出席者等
  - (1)出席者(委員) 北川委員、佐藤委員、宍戸委員、岡委員、石山委員、今関委員、山本委員、畑中委員、中谷委員、山下委員、田邊委員  
(事務局) 黒田教育長 米本教育総務部長、角田教育総務部次長  
第一・第二調理場 吉田所長、板倉副主幹、宇田川副主査、  
宇都木栄養士、田中栄養士  
第三調理場 長島所長、林田栄養士、吉田栄養士
  - (2)欠席 4 人
  - (3)傍聴人 無
- 4 議 題
  - (1) 審議事項
    - ① 浦安市学校給食センター運営委員会会長の選出
    - ② 浦安市学校給食センター運営委員会副会長の選出
  - (2) 報告事項
    - ① 浦安市学校給食センター事務概要
    - ② 浦安市のアレルギー対応について
    - ③ 学校給食の放射性物質検査について
  - (3) 行事報告
    - ① 夏休み学校給食センター見学会・試食会について
  - (4) その他
    - ① 今後のスケジュールと内容
    - ② 給食に関する意見
- 5 会議経過  
議事に入る前に、教育長より各委員に委嘱状の交付を行い、委員及び事務局の自己紹介、教育長の挨拶があり、その後議事に入った。
  - (1) 審議事項
    - ① 浦安市学校給食センター運営委員会会長の選出について、事務局より説明し、北川委員が会長に推薦された。
    - ② 浦安市学校給食センター運営委員会副会長の選出について、会長より鈴木委員が推薦された。
  - (2) 報告事項
    - ① 浦安市学校給食センター事務概要について、事務局より説明した。  
委員から質問および意見は特になし。
    - ② 浦安市のアレルギー対応について事務局より説明した。  
委員から質問および意見は特になし。

③ 学校給食の放射性物質検査について事務局より説明した。

委員から質問および意見は特になし。

(3) 行事報告

① 夏休み学校給食センター見学会・試食会について事務局より説明した。

委員から質問および意見は特になし。

(4) その他

① 今後のスケジュールと内容について事務局より説明した。

委員から質問および意見は特になし。

② 給食に関しての意見について各委員より意見をいただいた。

委員からの意見は次のとおり。

(委員) 学校薬剤師会では年3回、学期の初めに給食センターに立ち入り検査を行っている。

検査のチェック項目が沢山あるが、温度や湿度、冷蔵庫の温度、食器の洗浄等の検査を行っており、温度管理について問題はない。

洗浄後の食器の検査で時々、澱粉が落ちていない場合があるが、熱風消毒保管により細菌の発生の影響はないものの改善するよう指導している。

旧施設の東野給食センターでは、施設の老朽化や調理場がウエットであったことから衛生管理の指摘をしていたが、現施設では衛生管理で指摘したことがない。

アレルギーに関してエピペンが保険適用となり、多くの子供たちが持つようになり、学校薬剤師会ではアレルギーについても情報の共有をしていく。

(委員) アレルギー対応食の提供日に、「今日の給食にはアレルギー対応食ありません。」と、マグネットで黒板に表示していますが、アレルギー対応食の児童がいるクラス担任教師は理解しており、アレルギー対応食の提供児童のいないクラス担任教師等、関心が薄いと思われます。

そのため、教職員が一体となったアレルギー対応について、養護教諭の立場から関心を持って対応していきたい。

(委員) 学校給食は、児童・生徒に食習慣を身に付けていただけるよう、適切なメニュー、栄養豊富な食材を使用しバランスのとれた給食を提供している。

児童・生徒は毎日給食を食することで、楽しく、美味しく、安心して食べられ、食に関心を持ってもらうように、給食センターは食の見本として、給食の提供をしてもらいたい。

また、食生活・食習慣について基本は家庭であり、家庭で食生活や食習慣を身につけられるようお願いしたい。

(委員) 子供が中学校に入学すると、小学校のように子供が給食を食べている様子を見学する機会がありません。

中学校用の給食献立表を見ると、育ち盛りの中学3年生では、給食の量が足りないのではないかと思う。

- (委員) 先日、学校で校長先生と一緒に給食を食べる試食会に出席した。  
私自身は中学校以来の給食であったが美味しくバランスも良く、量も満足した。
- (委員) 私も、学級活動で何十年ぶりに給食を食べました。  
美味しくてびっくりした事と、バランスが良くて、自分が作る夕食メニューと比較すると、バランスの良い食事であり、子供に給食を沢山食べてきてほしいと思う。  
また、小学校低学年の年度当初は、給食の準備をするのに時間がかかり、給食を食べる時間が少なくなって、時間内に残さず食べられるのかと思った。  
中学校の兄は、給食を全て残さないで食べていると言っていたが、帰宅時には口癖のようにお腹が空いたと言っており、育ち盛りには給食の量が足りないのかと思う。
- (委員) P T Aの実施した試食会に参加したことがあり、その日の献立表を確認したら、レバー料理であった。  
参加した保護者の中にもレバーが苦手な方がいたが、試食会に食べたレバー料理は、工夫すれば美味しく食べられると驚いていた。  
また、小学校で提供する給食は調理場を二つに分け、いろいろな理由からサイクル献立にしている事も参考になった。
- (委員) 小学校の娘が小学校に入学するまで、まったく牛乳が飲めなかった。  
現在小学校2年生になるが、給食に出されている牛乳を頑張って飲むようになった。  
牛乳の量については、小学校1年生に提供している牛乳の量は多くないのかと感じており、少し小さめな牛乳パックでの良いのかと思う。  
また、家では絶対に食べないレバーやししゃもが、給食では食べており、これからも美味しく安全な給食を期待している。
- (委員) 給食の残滓について子供から話を聞きますと、沢山給食をお替りしても、食缶には沢山給食が残っていると聞いている。  
食べ物を残すことについて、子供たちはなんとも思わないでいるのか不安があり、残滓についてもっと考える必要がある。